

議 事 録

件 名	第 5 回町田第三小学校跡地活用連絡協議会	
日 時	2026 年 6 月 24 日（水）10:30～11:30	
場 所	町田第三小学校西校舎 2 階 会議室	
出席者	委員	町田第二地区町内会・自治会連合会
		グランリビオ町田ガーデンコート自治会
		新小田急住宅自治会
		東ヶ丘住宅自治会
		日向台自治会
		本町田町内会
		本町田宿自治会
		弥生ヶ丘自治会
		町田市青少年健全育成本町田地区委員会
		町田市民生委員児童委員協議会町田第二地区
		※ 千代ヶ丘自治会 欠席
	町田市	政策経営部企画政策課
資 料	・議事次第 ・【資料 1-1】町田第三小学校跡地活用連絡協議会の設置について ・【資料 1-2】町田第三小学校跡地活用連絡協議会設置要領 ・【資料 2】2026 年度町田第三小学校跡地活用連絡協議会委員名簿 ・【資料 3】町田第三小学校跡地活用検討について	
議事録	市：ただいまより「第 5 回町田第三小学校跡地活用連絡協議会」を開催する。初めに、事務連絡となるが、本日の連絡協議会は、記録作成のため、録音、写真撮影をさせていただき、ご了承ください。次に、配付資料は次第、資料 1-1、資料 1-2、資料 2、資料 3 を配付している。併せて、本年度から委員になっていただいた方にはコンセプトブック本編を冊子で配付している。次に、本日の連絡協議会の進め方だが、事務局より、次第に沿って説明させていただく。最後に意見交換の時間も設けているが、質問や意見などがあれば、いつでも遠慮なく発言をいただきたい。はじめに、企画政策課地域活用型学校推進担当課長より、ご挨拶を申し上げます。 < 1 はじめに > ▶ あいさつ（町田市企画政策課地域活用型学校推進担当課長） 市：地域活用型学校推進担当はこれまで担当していた公共施設再編担当と同じ政策経営部企画政策課内に今年度新しくできた組織で、本連絡協議会の事務局を務めさせていただく。町田市では、「町田市新たな学校づくり推進計画」に基づき、新しい学校づくりを進めている。この取組により、この町田第三小学校は 2028 年 3 月に閉校となり、本町田ひなた小学校と統合する。学校跡地となった後の次の使い方については、2022 年度から検討を進めてきた。昨年度は本連絡協議会を設置して意見交換をさせていただいたが、他にもアンケートや、ワークショップへのご参加など、地域の皆様に多くのご意見をいただき、ご協力いただいたおかげで、この「まちさんプレイス」というコンセプトブックを作成することができた。ここで改めて御礼を申し上げます。詳細はこの後、担当からも説明するが、本年度はこのコンセプトを基に、より具体化した基本計画を作っていく。学校は地域の皆様にとってもかけがえのない場所である。その後の使い方についても、地域にお住まいの皆様と共に考えていく必要があると考えている。本日お集まりいただいた委員の皆様にとっても、そして地域の皆様にとっても、災害時の避難施設や、皆様が集う場所として、これからもこの場所が愛される場所になるように引き続き、ご意見をいただきながら検討を進めてまいりたいと考えている。 ▶ 本連絡協議会設置の趣旨（町田市企画政策課竹村）【資料 1－1】・【資料 1－2】 市：資料 1-1「町田第三小学校跡地活用連絡協議会の設置について」をご覧ください。本連絡協議会は、本町田地区の学校、本町田小学校、本町田東小学校、そして町田第三小学校の学校統合によって、2027 年度末で閉校し、学校跡地となる町田第三小学校をどのように活用していくか検討していく中で進捗の状況を共有するとともに、跡地活用に関する意見交換をする場として昨年度より設置している。昨年度は計 4 回開催し、今回が 5 回目の開催となる。今年度も 4 回予定している。	

議事録	本連絡協議会の設置の根拠として、資料 1-2 にある、町田第三小学校跡地活用連絡協議会設置要領を作成している。時間がある時にご覧いただくようお願いする。委員皆様の役割として、町田第三小学校跡地活用に係る記載の事項について事務局より情報共有し、皆様と意見交換をさせていただきたいと考えている。委員の構成については、町田第三小学校を中心に 500m 圏内に位置する町内会・自治会などからご推薦いただいたメンバーで構成され、今年度は 14 名を最大人数として進める。委員の任期は年度末までとする。年度ごとに委員を推薦していただき、本連絡協議会を進める。資料 1-1 の裏面をご覧いただきたい。今年度の連絡協議会は今回を入れて計 4 回を予定している。6 月、9 月、12 月、3 月を予定しており、今年度の最終回については、日程調整中である。学校と調整が完了し次第、皆様にお伝えする。 ▶ 本連絡協議会出席者の紹介【資料 2】 ※氏名、所属のほかに発言のあった委員については、以下のとおり。 委員：昨年度から引き続きだが、大変意義深い会議に参加させていただき感謝している。 委員：60 年前の町田第三小学校の卒業生で、個人的には町田第三小学校がなくなるのは非常に寂しいため、本連絡協議会の趣旨に沿わないが、参加させていただく。 委員：自宅が近く、町田第三小学校とは、住み続ける限り非常に深い御縁が続くと思っている。跡地の活用に対して非常に興味を持っていて、初回から会議やワークショップに参加している。 委員：私を含め 5 代、この町田第三小学校にお世話になった。素晴らしい跡地にしていただければと思っている。 委員：私も町田第三小学校の卒業生であり、遠い昔、1961 年の卒業である。 委員：町田第三小学校に子どもがいて、この先が気になっているため、引き続き、委員を務めさせていただく。 委員：ずっと関わっているため、色々な意見が入った方が良くと思い、他の方にも参加を呼びかけたが、会議出席が難しいとのことで、引き続き私が参加する。できるだけ皆さんの意見を拾い上げて、本連絡協議会に持ってこられるように頑張りたい。 委員：高齢者、子ども達の居場所を考えながら、皆さんとまた 1 年間話をしていきたい。 < 2 町田第三小学校跡地活用の検討について【資料 3】 > 市：資料 3「町田第三小学校跡地活用検討について」をご覧いただきたい。2022 年度から町田第三小学校跡地活用については検討を進めている。2024 年度には、市民アンケートやワークショップを開催し、地域の皆様のご意見をいただいた。2025 年度は町三小跡地の活用について方向性やコンセプトを決定し、コンセプトブックを作成した。2026 年度はコンセプトをより具体的にするため、施設整備にあたり、法的な整理や建築条件の確認、敷地の状況等をまとめ、町田第三小学校跡地活用基本計画を策定していく。さらに、来年度以降、策定した基本計画を用いて、設計へと工程を進めていく。2028 年度町田第三小学校が閉校後には、校舎や体育館の解体に移る。本町田東小の解体には約 12 か月かかったため、町田第三小学校の解体も同じくらいかかると想定している。2028 年 6 月頃から解体が始まると 2029 年度にかけて解体工事が入る予定になる。解体し終わると、ようやく新しい活用方法に向けた整備に移れる。最速では 2030 年度に活用を開始できるよう、今のうちから準備をしていく。次に、本日、初めて参加される方もいらっしゃるため、昨年度の振り返りをさせていただく。1 ページ目下段をご覧いただきたい。昨年度は、町三小跡地活用のコンセプトを作成し、イメージを共有できるようにコンセプトブックを作成している。裏面をご覧いただきたい。跡地活用のコンセプトを、「活動でみんながつながれる場 まちさんプレイス」とし、地域の皆様から愛されている場所である町田第三小学校をこれからも地域の皆様から愛され続ける場所として、様々な活動ができる場所へと生まれ変わるように進めていきたいと考えている。このコンセプトブックでは、町三小跡地の敷地を ABC のゾーンに分けて活用しようと考えている。ゾーン A は現在の本校舎棟及び校庭で、だれでも自由に使える広場を想定している。ゾーン B は現在の体育館やプールがある、町三小の下部、恩田川の横になる。こちらでは、様々な体験や活動ができる広場を想定している。最後に、ゾーン C である。今、皆様がいる町三小西棟のこのあたりに、みんながつながれる地域の居場所機能として、建物を建てる想定でいる。こちらの建物は、災害時には地域の防災拠点として、学校にあった避難施設機能を継続できるように、100 名程度の方が避難できるような場所となるように整備をしていこうと考えている。平時には地域の皆様が活用できる場所を想定し、現在、法整理や建物の位置等について、建築担当部署と協議を重ねている。最後に、今年度の取組予定を掲載
-----	---

している。まず1つ目は本連絡協議会になる。本日を含めて計4回開催を予定し、6月9月12月3月を予定している。2つ目は、昨年度の連絡協議会で皆様から、中高生の意見も聞いた方が良いというアドバイスをいただいたので、今年度7月～8月頃に中高生へ意見を伺う場を作りたいと考えている。町三小出身者や町一中出身の子どもたちを中心に、町三小跡地の活用方法について意見をいただく予定でいる。3つ目として、サウンディング型市場調査を実施する。本調査は、民間企業の知見として、施設の使い方など、行政では考えることができないようなアイデアを伺っていく。昨年度も一度実施しており、市ホームページにも結果が掲載されているが、今年度も、昨年度行った調査結果を元にしながら、どのようなことが実現できそうかを考えていく材料集めをさせていただく。今後町三小跡地をどのように管理できるか、地域の方々の力を借りながらの管理方法等、民間のアイデアを聞いていく中で整理していこうと考えている。4つ目は市民ワークショップになる。昨年度は防災等をテーマに、町三小体育館で開催した。今年度も違うテーマで開催を予定しており、11月頃を想定している。詳細が決まり次第、皆様にご報告させていただくので、周知のご協力をお願いしたい。今年度の最終目標としては、町三小跡地活用基本計画を策定することである。年度末までに策定し、2027年3月の町田市議会へ報告をしたいと考えている。皆様とともに跡地活用の検討を進めてきた中で、少しずつ形になってきている。今後も皆様からご意見を頂戴し、基本計画を整理していきたい。

< 3 意見交換 >

委員：昨年から伺っていたことだが、建物の計画が詰まってきたのか。どのくらいの規模か、検討は進んでいるか。

市：建築担当部署と相談しているが、確実に言えるのは100人程度が避難できる規模。複数階は建築基準でハードルが高いため、想定しているのは平屋である。

市：規模のイメージは、昨年度時点で、300㎡程度と申し上げていた。

市：基本計画の中で、どのような建物にするかを記載する項目がある。次回以降、また情報をお伝えする。

委員：他の方に跡地がこのようになると伝えたときに、芝生、花壇、畑などは、長期継続になった場合、ボランティアによる管理が大変との意見をいただいた。

市：ご認識のとおり。例えばシバヒロも管理費が掛かっている。市全体の知見も活かしながら、どのような広場にすれば良いか、考えていきたい。相談させていただく。芝生の管理が難しいことは承知している。まずは理想を語りながら、少しずつ現実にとしたい。

委員：前年度までの議論に参加していないので分からないところはあるが、町田第三小学校でまちともをやっている。Aゾーンで子どもたちが何をしているかを見ると、サッカー、野球。大変なのは、竹藪にボールが飛ぶ。どう子どもたちが使うかを想像してほしい。本町田にはサッカーや野球ができる場所があまりない。Aゾーンがどう使われるかを考え、サッカー、野球をOKとすると、高めのフェンスが必要。大人の使い方を考えると、野津田陸上競技場にはテニスの壁打ちで朝早くから人が来る。この近くにもかつては壁打ちの場所があった。シンプルな壁があれば、テニスの壁打ちやキャッチボール、サッカーのシュート練習などに使われるのではないかと。広く使える場所は中央公園くらいだと思う。常時管理人がいないのであれば、使い方をよく考えた方が良い。子どもはとんでもない使い方をする子もいる。

市：子どもの使い方は本当に思いがけない使い方をする場合があるのは承知している。基本設計のタイミングかもしれないが、加味していきたい。またアドバイスをいただきたい。

委員：全体的に広場の使い方は、皆さん集まって、様々な意見が出て、ワークショップを経て、作り上げてきた。このデザインを、どういう年代の方が使うかを含めて考え直した方が良いのではないかと。基本は基本であるが、できるだけ、小・中学校の子どもたちが何して遊んでいるかという状況把握をする必要があるのではないかと。イメージするところでは、自由に使ってねとなると、お年寄りもいたり、ボールを使って遊ぶ子もいたりとなると危ない。時間設定で遊んでもらうなどの設定も必要ではないかと。できるだけ多くの方が使えるような設備にしてほしい。ワークショップでも講義の先生が言っていたが、仕掛けをしてほしい。何となく広場を作っても、人が集まらない。このメンバーで仕掛けを考えてやっていきたい。

市：中高生の意見も聞きながら検討したい。時間によってカテゴリも変わる。公園部署やスポーツ部署などから、安全な遊び方などのアイデアも聞きながら検討したい。

委員：駐車場について、日向台北公園だけが候補としてあがっているか。

	市：ワークショップで日向台北公園を駐車場にできたらどうかと意見をいただき、調整中である。障がい者用の駐車場は施設に隣接させなければいけないが、一般利用の駐車場として候補にあがっている。 委員：忠生スポーツ公園の駐車場が良かった。30 分無料のあのシステムでやってはどうか。駐車場は1 か所しか取れないか。 市：町田第三小学校は接道が鎌倉街道からの 4m 道路しかない。日向台北公園もセットバックが必要になりそうという情報がある。今後情報を整理する。 委員：日向台北公園に隣接して川があるが、子どもたちが遊べるように整備することは可能か。 市：川に入って何か、ということになるとハードルはあがるかもしれない。水辺のあそび、という切り口での検討は可能性が 0 ではない。法律の確認や、河川は東京都が所有していると思うので、市下水道部とも話しながら検討したい。 委員：不登校が増えている。学校跡地ということで、不登校の子が自習できるスペースにしてあげるのも良いのではないか。子どもが日向台北公園で集まっている。公園で遊ぶというよりは話している。交流の場になっている。そういったものが中にできれば問題はないと思うが、そうした時代の流れも汲んでいただければありがたい。 市：日向台北公園をなくす場合、公園機能の付け替えは必要になる。敷地内に付け替えることも考えている。子どもたちの居場所としての建物という使い方も考えられる。情報共有だが、成瀬地区の南成瀬小学校跡地に学びの多様化学校をつくる予定である。 委員：希望のいくつかが入っていて、嬉しい。避難場所、イベント広場、土手の斜面を使ってアスレチックのようなものが入っていてほっとした。今朝、誰もが気軽に来てほっとするという夢を見た。同じようなこと書いてあって、夢と同じだとびっくりした。希望として、具合が悪くなったり、怪我をした場合にも、看護師のような方が常時いて、処置してもらえると嬉しい。 委員：今までのワークショップを通じて色んな意見が出て、大分集約されてきた。100 人規模が避難できる平屋ということで、大分進んだと思った。設備の希望は今後も出てくると思うが、サウンディング型市場調査などでも、管理できるか、運用が可能か、という点も考えて施設を作ってほしい。防犯面など、作った後に齟齬が出ては困る。Bゾーンにドッグラン、スケートパークなどがもしできた場合、夜間の管理がどうなるか。管理の仕方も念頭に計画を作ってほしい。 市：シバヒロの例では、管理人が朝鍵を開けて、夜閉める。中央公園も指定管理で、市の職員ではなく委託事業者が管理している。本町田ひなた小は PFI という事業手法で、例えば窓ガラスが割れたときの対応など、施設の維持管理は民間事業者が行う。この施設にとって良い管理手法を検討していきたい。 委員：目の前に住んでいるので、鍵の開け閉めはできる。 市：有難い。人材は必要。 委員：まだ基本計画だと思うが、想定予算、概略は考えていると思うが、例えば 2 階建てなどもう少し規模を大きくできないか。それは決まっているとすると進め方がおかしいのではないか。どういう内容で平屋かなど全体を含めて規模も検討してほしい。 市：機能などのアイデア出しも含めて相談していきたい。決まっているところは決まっていることになってしまうが、決まっていないところは教えてほしいという形で進めさせていただきたい。 委員：中高生アンケートは有難い。息子は町一中卒業で、娘は町一中に通っている。たくさん声が集まるように子どもたちに働きかけて拡散してもらいたい。100 人規模は教室 3 つ分程度だと思う、思っていたよりも小さいという印象がある。防災ですごく窮屈な思いをすると、なぜもっとスペースを取らなかったのか、となることを危惧している。予算や制約があることは理解しているが、運用するときにはいい施設だなと思ってもらえるよう今後も意見を出していきたい。 市：地域の居場所機能がコンセプトになる。地域の方が集まって楽しめるスペースとして施設が必要。100 名程度は有事の際。どのような機能があれば地域として嬉しいか、という視点でご意見を伺いたい。 <事務連絡> 市：次回の本連絡協議会は、9 月 30 日（水）、時間、場所は今回と同じく、10:30-11:30 に町田第三小学校西校舎 2 階会議室となる。本日の連絡協議会を終了する。
--	---

以上